



会場販売のマス킹テープ
を3本切って貼り並べました。

乙島っ子

令和5年度 NO. 21

令和5年11月13日 倉敷市立乙島小学校

「地域」に生きる、「地域」と生きる

本校で「岡山型PBL」(Project Based Learning)を進めてきているということは、前号でもお話ししましたが、3～6年生では、時間割に位置付けられている「総合的な学習の時間」が、それを担っています。では、「何のためにその学習を行っているか」というと、あっさり言って、「『地域』に生きる、『地域』と生きるため」です。6年生が「玉島レトロ」を探究していることもあり、「情報収集の一助になれば」と思い、朝市に出かけてきました。



総合的な学習の時間は、「実社会の様々な場面で活用できる汎用的な能力」の育成を目指した探究学習の時間で、高校でも、とみに重視されてきています。当日は、玉商生徒さんたちが、「茶の湯文化」や「レトロな情緒」が漂う「玉島」が味わえる多様なプロジェクトを展開し、「『地域』に生き、『地域』と生きる」姿のお手本を示しました。



2学期になって、6年生児童は、学級を解体し、「学年」単位で、テーマ、「祝おう！乙小、120歳」を設定し、学校の歴史、乙島の歴史、校歌のいわれなどを探究するPBLを進めています。また、1月には、「ブックレット(電子版)」の発刊、31日には、「ミニ式典」を行うことを企画し、「『地域』に生き、『地域』と生きる」姿を示します。

「地域」を 広義で考える

「地域」は、当然、「乙島」に限ったものではありません。「倉敷市」も、広義で考えれば、「地域」です。当市連島には、明治時代の著名な詩人、薄田泣菫(すすきだ きゅうきん)の生家があり、当時の貴重な資料が一般公開されています。今年度、開館20周年を記念し、創作詩の応募があり、本校からは、国語の学習で詩作を行った2、3、6年生児童が出品し、主催者から感謝状をいただき、また、「作品展示がある」ということで、行ってきました。

薄田泣菫生家 開館20周年記念 創作詩応募のお礼

倉敷市の小中学生の皆さん
たくさんの詩を応募してくださり本当にありがとうございました。
寄せられた詩は、なんと全部で2、291点。
皆さんの感じる心・夢を見つめる目・強い言葉で表現する力
を、一つ一つの詩からたくさん感じることができました。
素晴らしいです。これからも大切にしてください。

皆さんの作品の展示
○展示期間 薄田泣菫生家
今年度(11月11日)まで
休んで、自分の好きなように
学校の入作物を飾ることが
できると思います。

参加者
○連島中
○連島小
○連島南
○連島北
○連島東

乙小のみなさん、
142点もの出品
ありがとうございます。

